

# 下水道 BCP（業務継続計画）の策定

## ～災害時の下水道機能の維持及び早期復旧を行うために～

### 目的

近年、全国各地で大規模地震が発生し、下水道施設に甚大な被害をもたらしています。下水道施設がその機能を果たせなくなると、トイレの使用不可などによる住民の生活環境の悪化、汚水の滞留や未処理下水の流出による公衆衛生被害の発生、雨水排除機能の喪失による浸水被害の発生など、社会的に甚大な影響を及ぼすこととなります。昨今の状況を踏まえ、災害時においても速やかにかつ高いレベルで下水道機能の維持・回復が可能となるように下水道BCPの策定を行う必要があります。

#### ここで、「下水道BCP」とは

災害発生時における復旧に必要なリソース（ヒト・モノ・ライフライン等の資源）の制約条件を想定して、下水道機能の維持・確保や早期回復を図っていく取り組みを検討し、災害に備えるための「業務継続計画」になります。

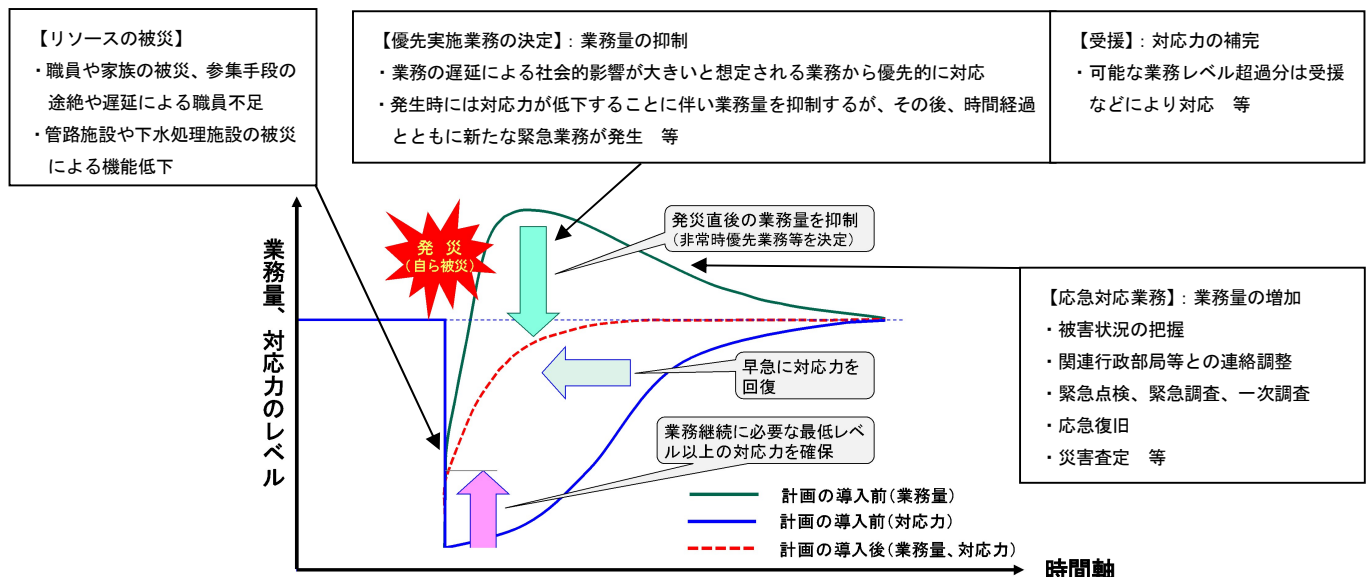
### 内容

下水道BCPでは、以下に示す基本方針に基づいて計画の策定を行う必要があります。下水道BCPを策定することで被災時における業務立上げ時間の短縮や発災直後の業務レベル向上が可能となります。

#### 「下水道BCP」の基本方針

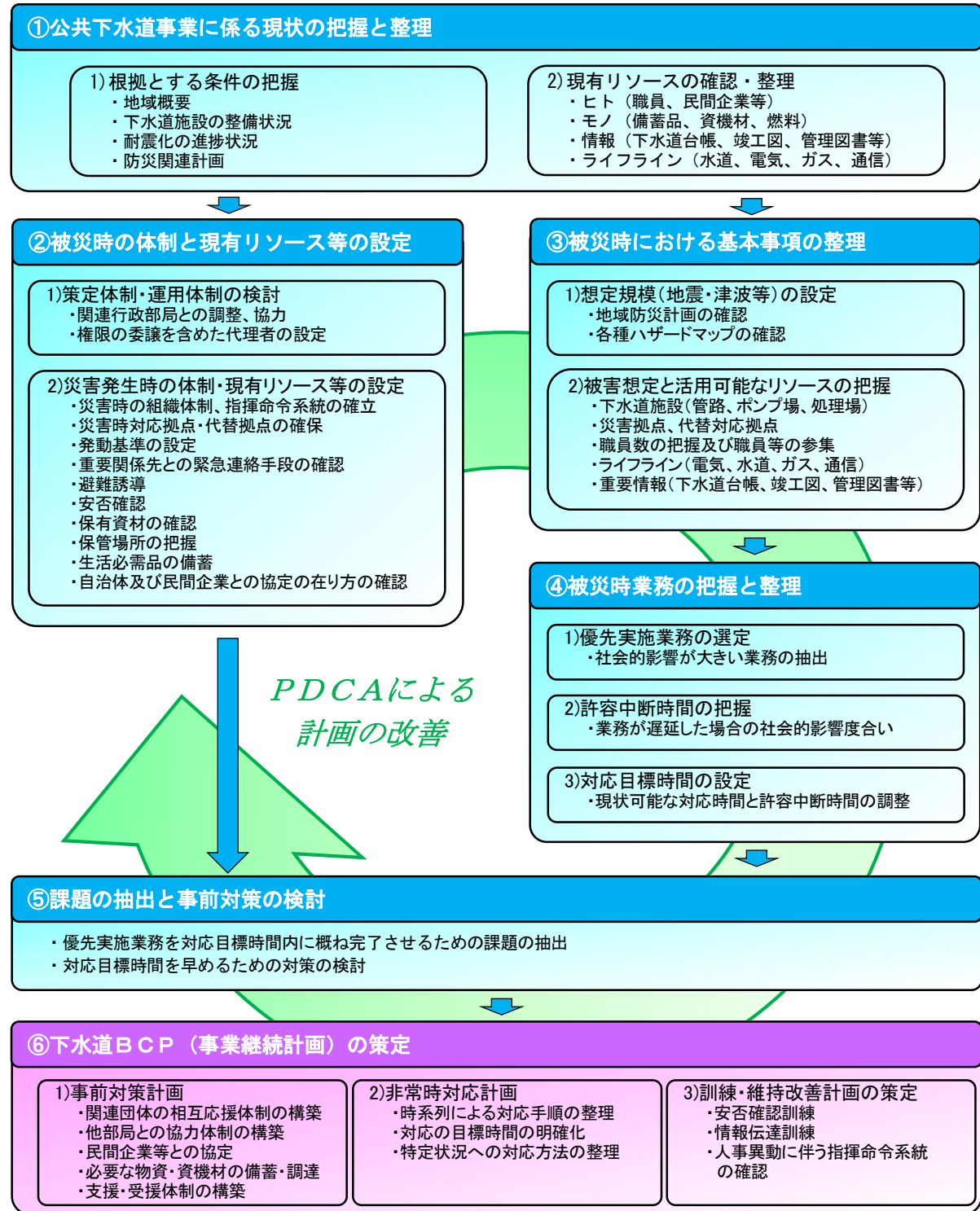
- ① 災害発生時の業務の継続・早期復旧においては、市民、職員、関係者の安全確保を第一優先とすること
- ② 災害発生時には、重要な機能を優先的に回復するために、非常時優先業務の遂行に全力を挙げる
- ③ 非常時優先業務において段階的な目標を設定し、手順や対応期限を明確にすること  
目標の実現のため、必要な人員や資機材の確保体制を事前に構築し、必要とする施設に適切に配分すること
- ④ PDCA手法による計画の見直しや訓練を実施すること

#### <災害発生後における業務レベル向上の概念図>



# 下水道 BCP 策定フロー

下水道BCPは、条件整理及び被害規模の想定、課題及び対策の検討、計画の策定から構成されます。



条件基本事項の整理及び課題対策の検討

計画の策定

## 当社実績

- H26 「美浜町下水道事業継続計画（地震・津波編）策定業務」和歌山県美浜町  
 ※弊社都市計画部署が同時に策定した地域防災計画、全庁型BCPを反映した下水道BCP
- H29 「玉城町公共下水道業務継続計画策定業務」三重県玉城町